

第2章 第1期計画に係る評価及び課題

1. 第1期計画の概要

1) 計画期間

本市は平成26年度に第1期計画を策定し、計画期間を平成27年度から平成29年度として、各種保健事業を実施してきた。

2) 短期目標と中長期目標

特定健診の受診率、特定保健指導の実施率向上をはじめとして、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の血管変化における共通するリスクである糖尿病・高血圧・脂質異常症・メタボリックシンドローム等の減少を短期目標とし、医療費に占める生活習慣病の割合を抑制すること、入院医療費の伸びを抑制することを中長期目標に掲げ取り組んできた。

中長期目標の具体的な指標として、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の5%減を掲げ取り組んだ結果、糖尿病性腎症以外は患者数が減少している。ただし、高額レセプトの割合で見ると減少しているというわけではなく、患者数の減少が必ずしも医療費の削減に寄与しているとは限らないことがわかってきた。また、入院医療費の伸びの抑制については十分とはいえない結果となっている。

短期目標の具体的な指標としては、血圧・血糖・脂質及び慢性腎臓病(CKD)の改善を掲げ取り組んだ結果、患者総数は減少しているが、新規患者数は減少していない状況である。

2. 第1期計画に係る評価(基礎的データの推移)

1) 全体の基礎統計

本市は、人口**25,660**人、高齢化率**34.9%**である(平成27年度国勢調査)。同規模平均、福岡県、国と比較しても高齢化が進んでいる。また、被保険者の平均年齢も**55.9**歳と他と比べて高い。

また、平均寿命について男性は他と比べて低く、死亡率が出生率を上回っていることから、今後人口減少と更なる少子高齢化が予測されるため、被保険者の健康の保持・増進は重要である。

(図表5)

本市の国保加入率は**23.5%**で、加入率及び被保険者数は年々減少傾向で年齢構成については65~74歳の前期高齢者が約半数を占めている。(図表6)

市内に2つの病院、32の診療所があり、病院は同規模平均と同等、診療所は同規模平均と比較して多く、高齢者も多いことから、外来患者数及び入院患者数は同規模平均及び福岡県と比較して高い。(図表7)

図表5 豊前市の特性

| | 人口総数 (人) | 高齢化率 (%) | 被保険者数 (人) (加入率) | 被保険者 平均年齢 (歳) | 出生率 (人口千対) | 死亡率 (人口千対) | 平均寿命 (歳) 男性/女性 | 健康寿命 (歳) 男性/女性 | 産業構成比 | | |
|-----|-------------|-------------|-----------------------|---------------------|---------------|---------------|----------------------|----------------------|-------|------|------|
| | | | | | | | | | 第1次 | 第2次 | 第3次 |
| 豊前市 | 25,660 | 34.9 | 6,041 (23.5) | 55.9 | 6.8 | 14.3 | 79.1 86.6 | 65.5 67.2 | 7.2 | 32.0 | 60.7 |
| 同規模 | 33,322 | 32.8 | 8,361 (25.1) | 54.5 | 6.6 | 14.2 | 79.2 86.4 | 65.1 66.8 | 11.3 | 27.6 | 61.1 |
| 福岡県 | 5,038,664 | 25.9 | 1,209,883 (24.0) | 50.4 | 9.0 | 10.0 | 79.3 86.5 | 65.2 66.9 | 3.1 | 20.9 | 76.0 |
| 国 | 125,640,987 | 26.4 | 32,425,944 (26.3) | 51.1 | 8.0 | 10.3 | 79.6 86.4 | 65.2 66.8 | 4.2 | 25.2 | 70.6 |